

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 ITホールディングス株式会社
 コード番号 3626 URL <http://www.itholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 岡本 晋
 (氏名) 浦田 幸夫

TEL 03-6738-7557

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第3四半期	232,985	—	11,613	—	11,794	—	4,353	—
20年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	51.28	51.27
20年3月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	％	百万円	％	％	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	274,240	—	141,344	—	46.1	—	1,485.52	
20年3月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 126,321百万円 20年3月期 1百万円

(注) 当社は平成20年4月1日に、TIS株式会社と株式会社インテックホールディングスとの経営統合による共同持株会社として設立しました。従いまして、前年同四半期及び前期の実績は記載しておりません。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	340,000	—	22,000	—	22,000	—	11,000	—	129.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 86,372,339株 20年3月期 1株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,336,751株 20年3月期 1株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 84,882,742株 20年3月期第3四半期 1株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、サブプライム住宅ローン問題に端を発した米国発の金融危機の深刻化に伴う急激な世界経済の悪化や株式・為替市場の大幅な変動などの影響により、企業収益が大幅に減少するとともに雇用情勢が悪化するなど、景気後退局面を迎えました。

情報サービス産業では、日銀短観（平成20年12月調査）において、ソフトウェア投資額が前年度を下回る見通しに転じるなど、最近の景気動向や企業収益の減少傾向を受けて投資抑制の動きがよりいっそう顕著になってきており、当産業を取り巻く今後の経営環境は厳しい状況になると見込んでおります。

このような状況の中で、平成20年4月1日にT I S株式会社と株式会社インテックホールディングスとの経営統合による共同持株会社として設立した当社は、当連結会計年度をグループの基盤を整備する年度と位置付け、グループの中長期的な成長のための重点施策として①第1次中期経営計画の策定、②グループ事業シナジーの推進、③バックオフィス業務のシェアード化推進（注）、④グループフォーメーションの整備、⑤情報システムの統合に鋭意取り組んでいます。また、グループ各社の間では情報連携も円滑に進んでおり、多くの商談が動き始めた成果は共同受注などで表れてきています。

（注）平成21年2月1日付で「S S C設立準備室」を設立し、平成21年4月のシェアードサービス会社による円滑な業務開始に向けた準備を進めております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、厳しい事業環境下で業績の伸び悩む子会社もありましたが、主要顧客のIT投資ニーズを的確に捉えた事業展開により好調に推移した子会社が牽引したことから、グループ全体としては順調に推移しました。T I S株式会社において過年度より継続中だった大型案件については開発段階が終了し、11月よりシステムが順調に稼働しております。

上記の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高232,985百万円、営業利益11,613百万円、経常利益11,794百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損を1,519百万円計上した影響もあり、4,353百万円となりました。

分野別の業績は次のとおりであります。

①アウトソーシング・ネットワーク分野

当分野では、データセンタを活用して、受託運用サービスやシステムオペレーション、ネットワーク構築などのサービスを提供しています。当第3四半期連結累計期間の売上高は、主要顧客向けの売上が増加したこと及び平成20年7月に子会社化した株式会社ネクスウェイの業績が寄与したことなどから、92,343百万円となりました。

②ソフトウェア開発分野

当分野では、情報システムの企画から構築まで、総合的なシステムインテグレーションサービスを提供しています。当第3四半期連結累計期間の売上高は、大型案件に係る売上が計上されたほか、新規案件の寄与などがあつたことなどから、111,740百万円となりました。

③ソリューション分野

当分野では、ソフトウェア及び機器の販売を主業としています。当第3四半期連結累計期間の売上高は、大口顧客における更新需要の一服のほか、景気動向を受けたハードウェア需要の減退などから、20,817百万円となりました。

④その他の分野

当分野は、リースなど情報システムを提供するうえでの付随的なサービスで構成されます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、8,085百万円となりました。

なお、当社は、当社グループにおけるグループ経営の一層の強化と効率化を図る観点からグループフォーメーションを整備するため、T I S株式会社の保有する株式会社ユーフィット、株式会社アグレックス、クオリカ株式会社、A J S株式会社、株式会社エス・イー・ラボ、T I S トータルサービス株式会社、T I S リース株式会社、BMコンサルタンツ株式会社、およびT I S ソリューションビジネス株式会社の全株式について、当社を承継会社とする吸収分割を平成20年10月1日に行い、上記9社を当社の直接の子会社としました。

また、株式会社エス・イー・ラボについては、当社グループ全体の中長期的な戦略のもとスピーディな経営判断を行うため、完全子会社化した後、平成21年7月1日を目途にT I S ソリューションビジネス株式会社と合併させることが最善の方策と考え、平成21年2月2日開催の取締役会決議に基づき、現在、同社株式に対する公開買付けを実施しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、274,240百万円となりました。このうち、流動資産は111,879百万円、固定資産は162,360百万円となりました。一方、負債は132,895百万円、純資産は141,344百万円となり、純資産のうち少数株主持分は15,014百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、景気動向を受け、今後よりいっそう厳しさを増していくと考えておりますが、当社グループでは着実な事業推進などにより、全体としては順調に推移しています。

本業以外の部分で、金融危機に伴う株式市場全体の株価下落等により投資有価証券評価損を計上しましたが、四半期における評価方法として洗替え方式を採用しているため、当該評価損の額は平成21年3月期の期末日における時価により変動する場合があります。現時点では平成20年5月15日に発表した連結業績予想の変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が当期首に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、当期首の貸倒実績率等を使用し、貸倒見積高を算定する方法を採用しております。

②棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

一部の連結子会社は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当期首以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、当期首において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成20年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	29,175
受取手形及び売掛金	37,608
有価証券	1,700
商品及び製品	3,008
仕掛品	23,980
原材料及び貯蔵品	203
繰延税金資産	8,959
その他	7,389
貸倒引当金	△145
流動資産合計	111,879
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	52,601
機械装置及び運搬具（純額）	5,115
土地	22,364
貸与資産（純額）	3,266
その他（純額）	6,521
有形固定資産合計	89,869
無形固定資産	
のれん	4,992
その他	12,481
無形固定資産合計	17,473
投資その他の資産	
投資有価証券	28,050
繰延税金資産	9,557
前払年金費用	2,827
差入保証金	10,110
その他	7,066
貸倒引当金	△2,596
投資その他の資産合計	55,017
固定資産合計	162,360
資産合計	274,240

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	14,367
短期借入金	25,920
1年内償還予定の社債	8,150
未払法人税等	1,199
賞与引当金	4,731
その他の引当金	32
その他	18,125
流動負債合計	72,527
固定負債	
社債	15,500
長期借入金	32,264
退職給付引当金	7,959
役員退職慰労引当金	238
繰延税金負債	665
再評価に係る繰延税金負債	1,064
その他	2,675
固定負債合計	60,368
負債合計	132,895
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	86,321
利益剰余金	36,072
自己株式	△2,354
株主資本合計	130,039
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△792
土地再評価差額金	△2,922
為替換算調整勘定	△2
評価・換算差額等合計	△3,717
新株予約権	8
少数株主持分	15,014
純資産合計	141,344
負債純資産合計	274,240

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	232,985
売上原価	190,794
売上総利益	42,191
販売費及び一般管理費	30,578
営業利益	11,613
営業外収益	
受取利息	51
受取配当金	473
負ののれん償却額	718
その他	423
営業外収益合計	1,667
営業外費用	
支払利息	834
創立費	110
その他	540
営業外費用合計	1,485
経常利益	11,794
特別利益	
投資有価証券売却益	8
子会社清算益	20
貸倒引当金戻入額	67
その他	41
特別利益合計	137
特別損失	
固定資産除却損	196
投資有価証券評価損	1,519
その他	463
特別損失合計	2,179
税金等調整前四半期純利益	9,753
法人税、住民税及び事業税	2,067
法人税等調整額	2,478
法人税等合計	4,546
少数株主利益	853
四半期純利益	4,353

「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

当社は、平成20年4月1日にT I S株式会社と株式会社インテックホールディングスとの共同株式移転により設立されたため、前年同四半期に係る財務諸表については記載しておりません。

四半期連結損益計算書

科目	T I S(株) (連結) 前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(株)インテックホールディングス (連結) 前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
I 売上高	135,568	84,535
II 売上原価	115,781	70,475
売上総利益	19,787	14,060
III 販売費及び一般管理費	19,287	8,236
営業利益	499	5,823
IV 営業外収益	1,282	565
V 営業外費用	666	1,132
経常利益	1,114	5,256
VI 特別利益	479	216
VII 特別損失	655	5,729
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	938	△255
法人税・住民税及び事業税	1,996	1,668
法人税等調整額	△1,486	△5,725
少数株主利益(△)	△879	51
四半期純利益又は純損失(△)	△451	3,750

平成21年2月10日

(参考)

ITホールディングス株式会社

平成21年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

【ITホールディングス連結】

1. サービス品目別売上高

(単位：百万円)

	平成21年3月期						進捗率
	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間	通期	
	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	自平成20年04月01日 至平成21年03月31日	
アウトソーシング ネットワーク	28,768 43.0%	32,026 33.2%	60,793 37.2%	31,549 45.4%	92,342 39.6%	120,000 35.3%	77.0%
ソフトウェア開発	28,895 43.2%	53,106 55.0%	82,001 50.2%	29,739 42.8%	111,740 48.0%	178,500 52.5%	62.6%
ソリューション	6,361 9.5%	8,553 8.9%	14,913 9.1%	5,903 8.5%	20,817 8.9%	34,500 10.1%	60.3%
その他	2,910 4.3%	2,806 2.9%	5,717 3.5%	2,368 3.4%	8,085 3.5%	7,000 2.1%	115.5%
合計	66,934 100.0%	96,491 100.0%	163,426 100.0%	69,559 100.0%	232,985 100.0%	340,000 100.0%	68.5%

(計画)

(注) 「その他」に含まれるリース事業については、平成21年3月期第4四半期から新リース会計基準を適用いたします。
そのため、平成21年3月期第3四半期連結累計期間までの実績は従来のリース会計基準を適用した数値であり、通期計画は新リース会計基準を適用した数値になっております。

2. 受注高及び受注残高(ソフトウェア開発)

(単位：百万円)

	平成21年3月期				
	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結累計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	自平成20年4月1日 至平成20年12月31日
受注高	35,153	38,741	73,894	42,601	116,496
期末受注残高	78,527	64,163	64,163	77,025	77,025

アウトソーシング・ネットワークサービスは継続業務でありますので、記載しておりません。